



七松小学校 学校だより

平成28年度

9月号

尼崎市立七松小学校

学校長 森本秀子

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

わが子に金メダルを

セミの鳴き声が聞こえなくなり、赤とんぼが気持ち良さそうに田んぼの上をすいすいと泳いでいる姿を目にするようになりました。8月末より朝夕が涼しくなり、夜には虫の鳴き声が聞こえ、秋の訪れを感じます。校門に立って子どもたちを迎えると、日焼けしている子、体が大きくなった子、夏休みの作品を抱えている子、登校する一人ひとりが、笑顔と一緒に、挨拶をしてくれました。きっと、夏休みを家族と一緒に過ごし、様々な体験をし、思い出を作った充足感が、素敵な笑顔と挨拶を誘い出してくれたのだと思います。長い夏休み生活を、しっかりと支えてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。また、7月の終わりに実施しました個人懇談会には、お忙しい中をご出席いただきありがとうございました。学校はもとより担任一同、話し合った内容は、今後の学校生活で指導してまいります。

さて、今年の夏休みは、甲子園に市立尼崎高等学校が33年ぶりに出場。メジャーリーグのイチロー選手が3000本安打達成。そしてリオ五輪と、テレビから目が離せませんでしたね。感動をたくさん頂きました。オリンピックのメダルの獲得数は、史上、最も多い41個でした。その中でも、強く印象に残っている競技は、男子体操団体、女子バドミントンダブルス、男女卓球団体、男子卓球、柔道、女子レスリング、男子テニス、男女競泳、シンクロ、陸上男子50キロ競歩、陸上男子400メートルリレーでのメダル獲得です。日本にとって初めて、あるいは久しぶりのメダル獲得という偉業を達成したことはもちろんですが、チームとしてメダルを獲得したところに大変意義深いものを感じます。なぜなら、個人競技と違って、チームとしての力が必要だからです。それは、「同じ目標を持っていること」「自分の役割を果たす事」「仲間を信じること」「互いに補い合うこと」などの“チームワーク”が必要と言う事です。これは、学校生活でも同じです。今夏“いじめ”による悲しい事件が新聞報道等に掲載されました。道徳の時間はもちろん、すべての教育活動において“いじめ”が許されない行為であることを教えるとともに、班や学級、学年、そして学校の“チームワーク”力を向上させ、仲間や友だちの良さを体感させていきたいと思えます。

教育実践者である森 信三先生は、人間として一番大切なことを

- (1) 自分が一たん決意したことは、石にしがみついても必ずやりぬく人間に
- (2) ホンのわずかなことで良いから、つねに他人のためにつくす人間に一

の2カ条にまとめられました。この根本の2カ条を参考に「わが子をどう人間に育てたらよいか」という根本方針をご家庭で話し合い、練りに練っていただきたいと言われています。わが子に対する目標や願いは、言わず語らず自然と子どもに伝わります。子どもは親がつねにその心の内に念じているものに近づくものだからです。どの子もその子にしかできない素晴らしい素質を持っています。スポーツに限らず、どの分野でも、将来一人ひとりの胸に、金メダルをかけてあげたい。『わが子に金メダルを』そう心に願い、2学期を共に元氣いっぱいスタートしてまいりましょう。